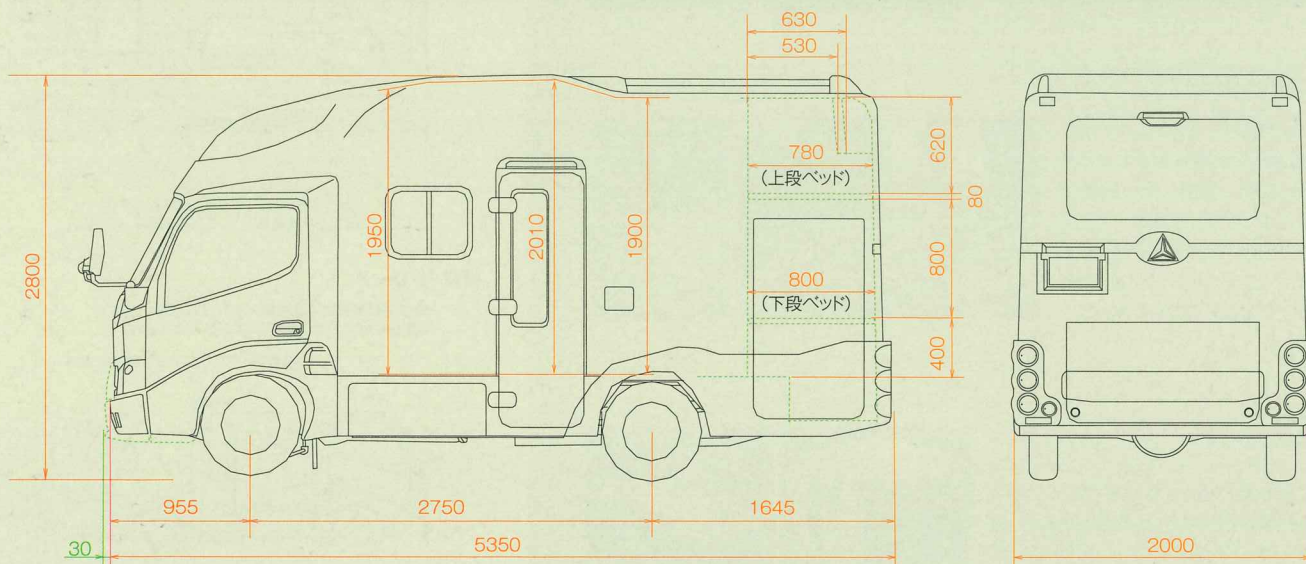
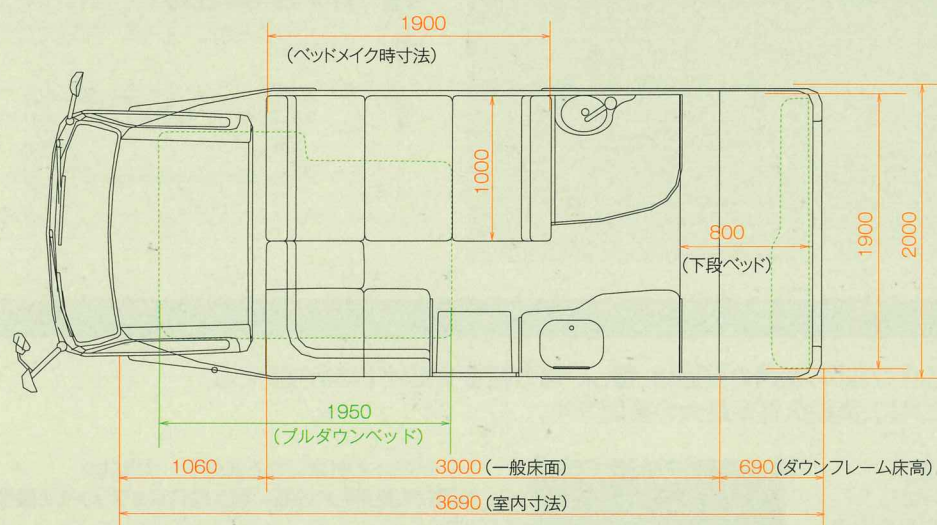


外観寸法



※オプションのエアダムバンパー装着時は、全長が30mm長くなります。

室内レイアウト



REGARD

YOKOHAMA MOTOR SALES, INC.

〒963-7881 福島県石川郡石川町字大橋2-16
TEL : 0247-26-7700 FAX : 0247-26-8480

- 本カタログ掲載の仕様、販売は予告なく変更することがあります。
- 本カタログに使用されている車両写真は実際に出荷される車両と一部装備が異なる場合もあります。
- ボディカラー、インテリアカラーは撮影条件、及び印刷インクの都合上、実際の色とは多少異なって見える場合があります。
- このカタログは2009年6月現在のものです。

 株式会社 **ヨコハマモーターセールス**
URL: <http://www.yms-jp.com>
e-mail: info@yms-jp.com

スタイリッシュながら 前代未聞の収納スペース

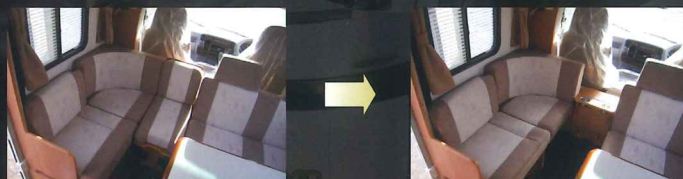
従来にないボディーデザインの追求

社内でプランニングした基本デザインを、カーデザイナーに託し、その形状を忠実に守り、今までにないスタイリッシュなシルエットを実現。



安全性と快適性を両立させた、多彩なシートアレンジ

エキストラシート（標準設定）背もたれ部分を反転し収納するとカップホルダーがセットされます。（ウォークスルー時）



左セカンド・トランスフォームシート（オプション設定）※標準は、横向き2人掛シート（2点式シートベルト）



同クラスの倍以上の収納スペース

リア大型収納庫は、二段ベットメイク時でも、ダウンフレーム化した部分の収納庫容積は、684ℓ（高さ450mm）を確保。更に、下段ベットをはね上げると、高さは1300mmになり容積は1852ℓに増大、ゴルフバックや自転車等、今までのキャンピングカーでは困難だった搭載を可能にしました。他にもボディー左右の外部収納と室内床下収納を有し、リア大型収納庫を除いても257ℓを確保しました。



質感の著しい向上

各リッドの裏面のほとんどを、トリムで化粧美しく仕上げ、閉じた時のリッドとヒンジの露出も極力なくし、オープンキャッチを使わず、全てにダンパーを採用。従来にない質感向上を実現しました。更に、コーチ部の（エントランスは除く）キーは、1種類に統一。今までのようにリッドを開ける際、鍵を探すわずらわしさがありません。



キャンピングカーの走行安定性（安全）を極限まで追求する

1 低重心化

室内の基本となる床面をフレーム上面に近い低位置設計とすると共に、リア大型収納庫の床面はダウンフレーム化し、高容積の収納スペース創出と低重心化を両立。更に、室内床の床下収納床面と、ボディー左右の外部収納庫床面も低位置に設定。オーナーの搭載品により更に低重心化し一層の走行安定性を可能にします。また、燃料タンクとスパータイヤ、共に下方へ移設し更なる低重心化を図っています。



2 前後左右の重量バランス

リアオーバーハングを長くするため、ホイールベースを205mm延長して後軸に集中しがちな荷重を前軸に分散させ、理想に近い重量配分を実現。後軸に重心を置く給水タンクの水が、排水タンクに移動しても重心移動はわずか、後軸の軸重変化を最小限におさえ、変わる事のない走行安定性を可能にしました。



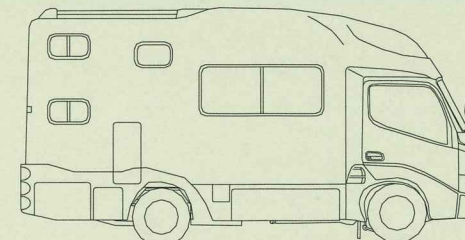
3 軽量化

重量物の下方移設計に合わせ、フロアーユニットにステップ、タイヤハウス、給水タンク、床下収納、シャワー・バソ、セカンド&サードシート台座までも一体成形で製作。今まで以上に起伏の多い形状が、フロアーの剛性をさらに向上させ、サブフレームのコンパクト化に成功。トータル的に軽量化を実現。ボディー壁面がR形状でありながら、ウレタンホームをサンドイッチし剛性を高めました。ウッドフレームの削減を計り、特にボディー上方の軽量化を実現しました。



4 軽量化による風対策

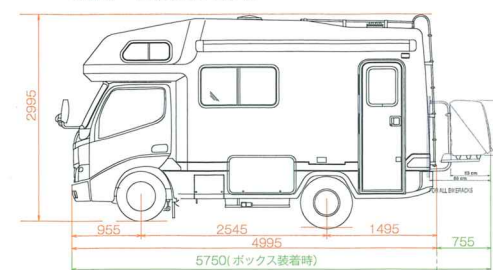
ルーフの各コーナーには、R100以上の形状をもたせ、バンクベッドを廃止したことで、ボディー表面積と上方重量を減らし風の影響を最小限に留めます。トンネルを出た際の突然の横風対策に、低重心化とホイールベース延長等が相乗効果として大きく貢献します。



車両サイズ比較

カムロード・ベース 5×2mモデル（YMS：ヘスティア・リミテッド）

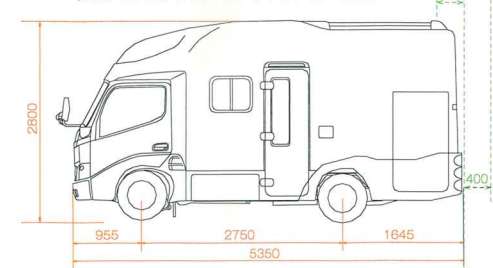
最小回転半径は、
2WD・4WD共に4.9m



5×2モデルよりも全長は355mm長い
ボックス装着時と比べると400mmも短い

新型「レガード」

最小回転半径は、2WD・4WD共に約5.2m
（全長4.8mクラスのワンボックスカー並み）



ワイド・スーパーロング
よりも30mm短い

T社 ワイド・スーパーロング



ホイールベースが長いので、最小回転半径は、
2WDで6.1m（4WDで6.3m）にもなります。

レガードの走行安定性を創出する 205mm

『レガード』誕生の最初の工程は、ホイールベース延長です。

レガードの室内レイアウトに関する基本構想は、充分な居住空間と就寝空間を確保しながらも、室内での人の動きを妨げない動線の確保を両立させたうえで、高い収納容積をも確保することです。この相反する要素を可能にするには、リアオーバーハングの長さが重要です。そこで、標準車のままでは後軸に集中しがちな荷重を、前軸に分散させる目的で『レガード』は、ホイールベースを205mm延長しました。この延長により、後荷重になることを極力防ぎ、理想に近い重量配分とすることで、走行安定性の向上を実現しました。



カットしたフレームを、定められた寸法に延長する際の誤差をなくすため、まず「専用の治具（画像の黄色いフレーム）」を造ることから始まりました。この治具を用いることで、製造される全てのレガードのフレーム改造のバラツキを抑え、迅速に生産することを可能にしました。



フレームをカットしてすぐの状態です。この後、ドライブシャフト交換などにかかります。



この工程の後、フレーム後端のダウンフレーム改造やマフラーの横出し改造、燃料タンクの下方移設など低重心化を図り走行安定性向上のための、次の製作ステップに進んでいきます。

治具とは・・・

日刊工業新聞社刊「機械用語辞典」によると次のように説明されています。

ジグ
jig

「治具」という日本語は同義の英単語 "jig" に漢字を当てたものである。工作物を固定するとともに切削工具などの制御、案内をする装置。おもに機械加工、溶接などに用いる。これによっていちいちけがきする手間がはぶけ、加工が容易になり、仕上がりが統一されるので作業能率を増し、大量生産に適する。

『レガード』に採用したシートファブリック

2種類のファブリックが織り成す、くつろぎの空間。採用の要因は、優しい色の組合せだけではありません。実は、巧みな製法を持った素材であると共に、高耐久性が最大の要因です。

着座する部分は、質感と耐久性を追求した結果、椅子張りの限界を超えた「シンコール」ブランドのオリジナル・ファブリック「トルブレックス TM」を採用

トルブレックスは、従来、一枚のファブリックで追求しなければならなかったタッチ、ルックス、ホールド感、そして椅子張りならではの耐久性を、独立した別々のファブリックで作成し、積み重ねて組み合わせるという革命的な発想に基づいた製法です。椅子張りは、衣類などと比べ、より高耐久を求められる特殊なファブリックであると同時に、室内を飾るアイテムです。『レガード』は、スエード調の表面タッチやルックスのみを追及したトップ層と、耐久性や、椅子にしたときのコシやハリなどのホールド感を追及したブルーラル層に分離して開発されたファブリックであるトルブレックス・タイプ3を採用しました。



Tru-Plex
TYPEⅢ



TOP層：マイクロファイバーでスエードタッチをつくる。そして特種加工による意匠性を付加。
Plural層：柔らかくに仕上げる特殊な接着層+コシのある平織で、ホールド感を補強。

シートマットの外側になる部分やベッドには、商用にも使用される高い耐久性のファブリックを採用。

商用にも使用される高い耐久性のファブリックを採用。多くの場合、インテリア感覚で設計しまいがちで、色がきれいだったり美観だけで選択されることもあるようです。しかしながら、永くご愛用いただけるようにYMSが製作したキャンピングカーの室内は、思った以上に耐久性を求められます。そこで採用するファブリックも、店舗などの商用使用に多く用いられるシンコール・ブランドの中でも、特に耐久性に重点を置いた素材を選びました。『レガード』のベッドやシート座面に採用した無地の生地は、ポリエステル製で、加工中に切り難い、伸びが無いなどの報告がありますが、反面、丈夫である証になります。

